

令和元年度第 1 回推進会議における委員からの指摘事項

指摘事項 1 ZEB、ZEHの促進について、国は、地元の工務店による導入が伸びていくことを期待しており、三重県のビジョンにもそうした意向を取り入れてもらいたい。

(対応)

地元工務店など事業者に対する導入促進に関する記述を追加します。

【→P 3 6】

指摘事項 2 太陽熱利用について、国は太陽光と太陽熱の両方を利用するハイブリット型のPVTの導入を進めており、三重県のビジョンに取り入れていただきたい。

(対応)

コラムとして掲載します。【→P 2 8】

指摘事項 3 世界的にRE100を推進する動きがあり、より再生可能エネルギーが求められる可能性があることから、こうした点にも触れていただきたい。

(対応)

「改定の趣旨」の文中にRE100に関する記述を追加します。【→P 1】

指摘事項 4 太陽熱利用について、ハウス型植物工場においても太陽光熱はたくさん利用されており、こうしたエネルギー利用も導入量に加えることはできないか。

(対応)

三重県新エネルギービジョンでは、太陽の熱エネルギーを集熱器に集め温水を作り、家庭等の給湯や暖房に利用するものを「太陽熱利用」として導入目標を設定しています。

今回、ハウス型植物工場における太陽熱利用も導入量に加えることはできないかのご指摘をいただきましたが、ハウス型植物工場における太陽熱利用の効果を原油換算化することは困難なため、導入量への追加は行わないこととし

たいと考えます。

指摘事項5 中間評価として導入件数、導入容量という評価以外に、経済効果がどうだったのか、雇用が増えたのか、といった評価軸も必要ではないか。

(対応)

資源エネルギー庁のデータを元に算定した、県内事業者及び県外事業者による経済効果を資料1-4に示します。

指摘事項6 「三重県がめざす3つの将来像」に県民の姿が見えないので、示すべきではないか。

(対応)

三重県新エネルギービジョンの改定に合わせ、啓発用リーフレットを新たに制作する予定であり、その際に取り組みたいと考えます。

指摘事項7 これからはエネルギーの自家消費の時代と考えており、自家消費を進めていくうえで蓄電池の普及は重要である。蓄電池の啓蒙活動もビジョンに加えていただきたい。また、ヒートポンプでお湯を沸かす時間を調整し、自家消費を行うことも可能であるので、こちらも啓蒙していただきたい。

(対応)

蓄電池に関する記述を追加します。【→P 36】

指摘事項8 九州のみやま市や三重県の松阪市では地域新電力を立ち上げており、三重県もそうした取組のバックアップや成長を促す取組を行っていただきたい。

(対応)

松阪市の取組事例を掲載します。【→P 41】

指摘事項9 県内で燃料電池自動車を保有している企業と共同でイベント等普及啓発活動を行うなどの取組を検討してはどうか。

(対応)

イベント等による普及啓発活動を行ううえでの参考とさせていただきます。

指摘事項 1 0 AI や I o T といったキーワードが示されているが、地域連携が重要であり、需給のマッチングが重要と考える。他の県や市町がどのような取組を行っているのか、調査をする必要があるのではないか。

(対応)

調査を行い、三重県においても取り組むことができる事例があれば、参考事例として掲載します。

指摘事項 1 1 バイオマスに関しては、県内の木材調達、燃料の確保の点で、林業政策、林業振興など、もう少し踏み込んでビジョンに記載いただきたい。

(対応)

「三重の森林づくり基本計画 2019」に基づく取組みについて掲載します。

【→P 2 9】

指摘事項 1 2 尾鷲市の中部電力三田火力発電所跡地に再生可能エネルギー施設の導入が検討されており、モデル地域としてビジョンに取り入れてはどうか。

(対応)

コラムとして掲載します。【→P 3 9】

指摘事項 1 3 森林環境贈与税がスタートし、市町にお金が入っている。県も連携して取り組んでいくべきであり、ビジョンにも取り入れられないか。

(対応)

コラムとして掲載します。【→P 3 1】

指摘事項 1 4 今後近い将来にペットボトルもバイオ由来のものに変わっていく。こうしたことも、ビジョンに取り入れてはどうか。

(対応)

バイオマスプラスチックについて、コラムを掲載します。【→P 4 8】

指摘事項 1 5 太陽光発電については、自家消費型に変えていくことが重要。北海道のブラックアウトにおいて、家庭用太陽光発電により家庭内に電気を供給できたという良い事例もあるので、災害時にも効果があるといったことを、県のほうでも県民に情報提供してもらおうと良いのではないか。

(対応)

コラムとして掲載します。【→P 2 7】

指摘事項 1 6 中小水力発電の中期目標値が現状地から変化がないが、今後、三重県では増やさないと見たふうに見えるため、表記の見直しが必要ではないか。

(対応)

導入目標値については、全ての新エネルギーについて小数点以下第 1 位までの表記としているため、中小水力発電に関しては、現在の導入量 0. 7 万 kW から長期目標の導入量 0. 7 万 kW まで全く増加しないように見える表記となっていました。

このため、中小水力発電に関しては、少数第 2 位までの表記に改め、現在の導入量を 0. 6 7 万 kW、長期目標の導入量を 0. 7 1 万 kW として表記します。